

3.



華僑工作實施要領

第二十五軍軍政部

0070

華僑工作實施要領

趣旨

華僑ノ動向ニ重大ナル關心ヲ持シ之ガ誘引工  
作ヲ以テ華僑對策ノ大部分ナリトセルハ既ニ  
過去ノコトニ屬ス、今次大戦ノ勃發ヲ契期ト  
シテ特ニ占領地内ノ華僑對策ハ從來ノ誘引工  
作ニ比シ其ノ本質方向共ニ根本的轉換ノ必要  
ヲ生ゼリ、即チ此ノ新タナル事態ニ當面シ現  
地ノ情勢ニ即應シテ茲ニ華僑工作要領ノ大綱

0071

ヲ決シ以テ馬來統治上ノ重大存在シル彼等並  
僑ニ對スル處理上遺憾ナキヲ期セントス  
二 要領

其ノ一 占領直後ノ應急要領

(一) 積極的誘引工作ハ之ヲ行ハズ

占領地内ニ於ケル彼等ノ動向ハ彼等自ラ  
ヲシテ決セシメ服従ヲ誓ヒ協カス惜シマ  
サルノ動向ヲ取ル者ニ對シテハ其ノ生業  
ヲ奪ハズ權益ヲ認メ然ラサル者ニ對シテ

0072

ハ断乎其ノ生存ヲ認メザルモノトス

(二)

金錢的蠲出ノ勸説ヲ行ハズ

各地區各都邑別ニ行フ所謂献金勸説ハ將

來ノ華僑利用ニ重大ナル支障ヲ及ボスヲ

以テ一元的指令ヲ以テ巨額ノ蠲出ヲ命ズ

ル時期迄ハ一切此ノ種勸説ヲ行ハサルモ

ノトス

(三)

自發的献金ニ對スル處理

彼等自ラ献金ヲ申出ツル場合ハ敢テ之ガ

0073

受理ヲ拒マズ

(四)

彼等ノ利用ヲ必要トスル場合ノ對處

領

軍需用物資ノ供出、一般需用物資ノ交流  
等就中當面ノ食糧對策ニ付テハ彼等ノ實  
カト經驗トノ利用ニ俟ソコト大ナルモノ  
アリ此ノ場合ニ於ケル利用方法ハ一  
命令ヲ以テ彼等ノ活動ヲ促シ方法、範圍  
等細部ニ亘ツテ指導干渉ヲ排シ以テ彼

0074

等ノ自由ニ委任スルガ如クシテ其ノ  
活動ニ依リテ得タル利益ハ後日有カナル  
財源トシテ確保シ課税ノ對象トシテ保留  
スルモノトス

(五)

排撃保護可シモ亦セズ

當今ノ開港場トシテ特別ナル取扱ヲ爲サ  
ズ單ニ支那ノトシテ他民族ト同一取扱  
ヲモトス  
資力商權共ニ他民族ニ優越セル現況下ニ

0075

其  
二  
於ラハ治安維持商店街ノ秩序等勢ヒ彼等  
ノ力ニ負フ所ナリ心ヘキヲ以テ此ノ大勢  
ニ對シテモ特別ナル手段ヲ取ルノ要ヲ認  
ムズ  
領  
二  
第一期作戰終了直後ニ於ケル對處要

(一)  
軍費並ニ統治資金ノ調達命令  
馬來全体ノ華僑ニ對シテ一元酌指令ヲ以テ  
之ヲ命ズ

0076

新嘉坡ヲ中心トシ彼南及吉隆坡等主要都  
市ノ有力華僑ヲ代表トシテ參集セシノ華  
僑全體ニ對シ最低五十萬圓ノ資金調達ヲ  
命ズルモノトス

(二) 全面的協力ヲ誓ハシム  
各商務會其ノ他有力團體代表者及有力者  
ヲ參會セシメ日本ノ南方經營ニ付産業  
交易ノ經濟・財政・文化等ニ對  
シ全面的ニ協力ヲ誓約セシメ以テ一面日

0077

本、南方經營上、人員格ヲ輕カラシム、他面、南方政策遂行上、一實施者ヲラシム

(三) 處断ノ峻嚴ヲ期ス

協力ニ参加セザル者ニ對シテハ極メテ峻嚴ナル處断ヲ以テ處理ス、即チ財産ノ沒收一族ノ追放、再入國ノ禁止ヲ行フト共ニ反抗ノ徒ニ對シテハ極刑ヲ以テ之ニ答ヘ華僑全体ニ對スル動向決定ニ資セシム

(四) 安居樂業ヲ保護ス

日本ニ對スル全面的協カヲ誓フ者ニ對シ  
テハ從來ノ生業權益ヲ奪ハサルノミナラ  
ズ彼等ノ繁榮ニ付充分ナル保證ヲ與ヘ  
服ニ所告ヲ以テ之ガ徹底ヲ期ス

其ノ三 將來ノ對處方針及要領大綱

(一) 全面的ニ利用ス

華僑ヲ彈壓排撃シ之ニ代ツテ日本人ノ進  
出ヲ期スベシト爲スガ如キ輕斷ニ陷ルコ  
トナク宜シク彼等ノ實カト商才トヲ我が

0079

南方經營ノ爲ニ利用スベキモノナリ

(二)

財源對策トシテ活用ス

彼等ノ有スル資力、經濟力ハ有カナル財  
源ナルヲ以テ之ヲ培養確保シ以テ南方經  
營ニ資ス

(三)

開發、生産ニ資力参加ヲ認ム

産業ノ開發、資源ノ獲得、交易ノ圓滑等  
凡スル部門ニ亘リ彼等ノ資本的参加ノ途  
ヲ開キ其ノ高オヲ活用スベキ方法ヲ講ズ

0080

ルモノトス

(四)

蔣政権覆滅ノ謀略ニ活用ス

新嘉坡ヲ中心トスル南方華僑ノ總動向ヲ  
決定的ナラシメ然ル後彼等ヲ利用シテ蔣  
政権覆滅乃至日支關係ノ整調ニ活用ス

(五)

南方全華僑ヲ率フシム

南方一帯ニ商權網ヲ有スル全華僑約五百

萬人、資本總動員額見積約五十億元此ノ  
人的資本カヲ總動員シテ南方及支那一圓

0081

更ニ近東、南太平洋一帯ニ及ブ彼等ノ活  
動ハ實ニ容易ナラザル存在ヲ示ス、之ヲ  
率テ日本ノ對南方経倫ニ利用協カセシ  
ムル大方策ノ策源的推進カタラシメン  
トス

0082